

教職員対象 志望理由書き方指導講座

北見藤高等学校 進路指導部長 田中 克征

01 志望理由書作成時の課題

02 よい志望理由書とは

03 志望理由書作成のポイント

04 志望理由の作成と進路指導

05 生徒対象「志望理由書き方講座」

CONTENTS



01 志望理由書作成時の課題

事前課題への回答から抽出

- 各大学の学部学科にあった正しい添削ができているか不安
- 志望理由が表面的で、具体性のある志望理由にならない
- 学部学科の内容に一致した内容へと修正する指導方法がわからない
- 文章表現を修正したいが、別表現の代案が思いつかない
- どこまで添削で直すべきか悩む
- 口語表現や誤字脱字や段落の修正をどこまですべきか

01 志望理由書作成時の課題への回答

- 課題に対する答えは、
先生方の回答の中に既に在ります!!
お互いの回答を後で読んでみて下さい。

02 よい志望理由書とは

- その生徒独自のストーリーが読み取れる

02 よい志望理由書とは

- 将来の目標を踏まえた志望動機
- 具体的なエピソード
- 自己分析に基づいた適性が反映
- 学校研究に基づく学修計画
- 学修計画の達成が将来の目標実現につながることを論理的に記述

志望理由書の書き方に関する考え方の一例

Q.本学体育学部を志望する理由を以下に述べよ。

私は将来、救急救命士になって、一人でも多くの人の命を救いたいと考えています。①**きっかけはテレビのドキュメンタリー番組です。**医療の現場に興味をもち、本を読んだり看護師をしている姉に話を聞いたりしました。そして、救急救命士が直接、人の生死を左右する場所で力を発揮していることを知り、「人のために働ける仕事だ」と興味をもちました。特に法改正によって救急救命士が携われる範囲が広がり、より直接的な処置が可能になったことで、自分にもできることがあるのではないかと考えています。

ジャーナル大学体育学部では救急救命士の育成に力を入れていて、すでに 100 人以上の卒業生が第一線で活躍されています。②**特に救急救命の現場を再現する山田先生の実習授業では、卒業後すぐに生かせる判断力や処置力が学べることに興味をもっています。**実践的な授業を多く取り入れる方針は、「手を動かして覚える」という私の学習スタイルにも合うと思います。

私は小さいことから「人の役に立ちたい」と常に考えてきました。中学から続けている水泳部や生徒会での経験を通じて、物事への対処力を養ってきたつもりです。③**常に冷静に客観的に物事を考えられる私の強みは、救急救命士として働くうえで武器になると考えています。**入学後は④**責任ある行動をとれるよう、人間性も磨きたいです。**⑤**御校の理念である「〇〇〇」を胸に刻み、誰からも尊敬される社会人になれるよう努力したいです。**

志望理由書の書き方に関する考え方の一例

① 具体的なエピソードを忘れずに書く!! ←ポイント 1.自分を振り返る!!

学校やその分野に興味を持ったきっかけを、具体的なエピソードを交えて書こう。

② 志望校のどこに魅力を感じているかを書く!! ←ポイント 2.相手を深く知る!!

「なぜこの学校でないといけないのか」という理由を明確にしよう。

③ 「自分の強み」を強調する!! ←ポイント 1.自分を振り返る!!

「自分自身の強み」を学「校選びや学部・学科の選択」につなげて書こう。

④ 入学後に「学びたいこと」をアピールする!! ←ポイント 3.自分と志望校を結びつける!!

「進学後にどんなことを学びたいのか」を、具体的に書こう。

授業名や教員の名前を挙げてもいい。

⑤ 「将来の目標・なりたい自分」を書く!! ←ポイント 3.自分と志望校を結びつける!!

卒業後にどんな分野で、どんな活躍をしたいのかに触れてもいい。本気の進路選択だと熱意が伝われば、好印象にも繋がるはず。

03 志望理由書作成のポイントと指導

- 自己分析を徹底的に行わせる
- 学校研究, 職業研究・企業研究を徹底的に行わせる
- 生徒の将来の目標や原体験, 適性や興味関心を基に志望先とのマッチングを行わせる
- 口語表現でも良い、文章表現にこだわらず徐々に文章化させれば良い
- 添削する中で論理的な文章に仕上げればよい

03 志望理由書作成のポイント

- **自分を振り返らせる**
 - 学校生活を肯定的に捉えさせる、適性診断の活用
- **志望先の学校や企業など相手を深く調べさせる**
 - 複数の学校や企業を比較・研究させる
- **生徒自身と志望先とを結びつけさせる**
 - その志望先でなければならない理由を明確化

ポイント 1.自分を振り返る!!

① 自分がやってきたことを深く掘り下げてみよう!!

「これまで頑張ってきたこと」には、他者を惹きつける自分独自の魅力があるはず。楽しさ、喜び、やりがい、達成感などを感じるのはどんなときか、苦しいときもあきらめずに続けてきたのはどうしてか、自分に問いかけてみよう。

② 印象に残っているエピソードを思いだそう!!

どれだけ頑張ったかを伝えるには、具体的なエピソード（事例）を盛り込むのがコツ。ただの成功体験よりも、壁を乗り越えた経験や失敗から再挑戦して目標を達成した経験を選ぶと、そこから学んだことや身につけた力にも結びつけやすい。

③ 自分の強みを明確にしよう!!

「自分の強みや身につけた力をこれからどう活かしていきたいか」を示すと、進学への熱意が伝わる。そのためにも、まずは具体的にどんな強みや力があるのかを明確にしておくことが重要。

ポイント 2.相手を深く知る!!

① オープンキャンパスに参加して志望校の情報を詳しく知ろう!!

学校のパンフレットやホームページで情報を調べるのはもちろん、志望校のオープンキャンパスには必ず参加しよう。教職員や先輩に直接疑問をぶつけられるオープンキャンパスは、学校への理解を深める最高のチャンスなので積極的に参加しよう。

② 学校案内パンフレットを熟読し、他校と比較検討しよう!!

似たような名前の学部・学科・コースでも、学校によってカリキュラムや授業内容は異なる。ときには、自分が興味のある分野の授業が開講されていない、進みたい専門分野の研究者（先生）がいない、取りたい資格が取れないなど、致命的なケースもある。志望校だけでなく他校の情報も調べて、比較してみるのがオススメ。

③ 興味を持った分野や仕事について本を読んだり、調べよう!!

志望理由書や面接では、「興味のある分野についてどれくらい知っているか」という知識量は求められないが、「なぜ興味を持ったのか」や「学校では、特にどの部分について学びたいか」などは必ずチェックされる。具体的な書籍名を挙げ、「～を読んで～と感じ、～に興味をもった」などという流れにするとまとめやすい。

ポイント 3.自分と志望校とを結びつける!!

① 読んだ人が納得できる理由かどうかを客観視しよう!!

自分の中ではつながっていても、読み手には「どういうこと？」と受け取られかねないことは多々ある。誰が読んでも「なるほど、そういう理由ね」と思ってもらえるよう、「何を・なぜ・どのように」は省略しないで丁寧に書こう。

② なぜその業界や職業に就きたいのか、具体的な職業を調べて、理由を考えよう!!

ザックリした職業観で終わらせず、具体的にどのような職業があるのかを調べてみよう。職業が明確になることで、自分はどうしてそういう種類の仕事に惹かれたのかも見えてくるはず。

③ 学びたい学問について踏み込んで描くために、学校案内で実際の「授業名」をチェックしよう!!

ひとことで「〇〇分野」といっても幅広い。もう一步踏み込んで自分の興味をアピールするためにも、学校案内を読み込んで開講されている「授業名」を見てみたり、HP の研究室案内などを見たりして、より詳しい情報を得るようにしよう。気になるものをチェックしていくだけでも、自分の興味のある分野が見えてくるはず。

ポイント 1.自分を振り返る!!

○「自己分析」に関する具体的な質問項目

- ・これまでどんなことを勉強してきたか?
- ・これまでどんな部活動をしてきたか?
- ・これまで勉強や部活以外にどんなことをしてきたか?
- ・どんなことが好きか、どんなことに興味・関心があるか?
- ・これまでにどんな経験をしてきたか?
- ・これまでの人生でどんな人の影響を強く受けたか?
- ・将来は、どんな職業に就きたいか?
- ・将来は、どんな分野で活動してみたいか?

ポイント 2.相手を深く知る!!

○「志望校研究」に関する具体的な質問項目

- ・ 志望する学校の教育理念は、どんな理念か？
- ・ 学校学部学科は、どんなアドミッションポリシーを掲げているか？
- ・ どんなカリキュラム内容で学ぶことができるか？
- ・ どんな先生がいて、どんな研究や授業をしているか？
- ・ どんな資格や技能が取得できるか？
- ・ 他学校にはない特長は、どんな所か？
- ・ 学校のキャンパスの雰囲気は、どんな印象か？

ポイント 3.自分と志望校とを結びつける!!

○「志望理由の根拠」に関する具体的な質問項目

- ・ 学校で、どのような学問や授業を学びたいか?
- ・ 学校で、どのようなことを学んで、将来の目標を実現できると考えるか?
- ・ 将来どのように社会に貢献しようと考えているか?

再度「01 志望理由書作成時の課題」を!!

事前課題への回答から抽出

- 各大学の学部学科にあった正しい添削ができているか不安
- 志望理由が表面的で、具体性のある志望理由にならない
- 学部学科の内容に一致した内容へと修正する指導方法がわからない
- 文章表現を修正したいが、別表現の代案が思いつかない
- どこまで添削で直すべきか悩む
- 口語表現や誤字脱字や段落の修正をどこまですべきか

再度「01 志望理由書作成時の課題」を!!

- 各学校の学部学科のアドミッションポリシーやカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを生徒と教員が読み込み、それを踏まえた内容に添削する
- 学校研究を徹底的に行わせ、その学校の特色を踏まえた志望理由にする
- 具体的なエピソードを盛り込み、当該の生徒像が読み取れる志望理由にする
- 口語表現を文語表現に修正、誤字脱字を修正、段落を修正して読みやすくなるよう教員が最終的なものへと添削する

04 志望理由の作成と進路指導

- 1年から2年、2年から3年と継続的に取り組ませる。
- 各学年次で進路指導を積極的に行う中で、自己分析や学校研究、企業研究に取り組ませ、志望理由の構成要素を作成させる。
- 構成要素ごとに言語化させておく。

志望理由作成に関わる進路指導のタイミング

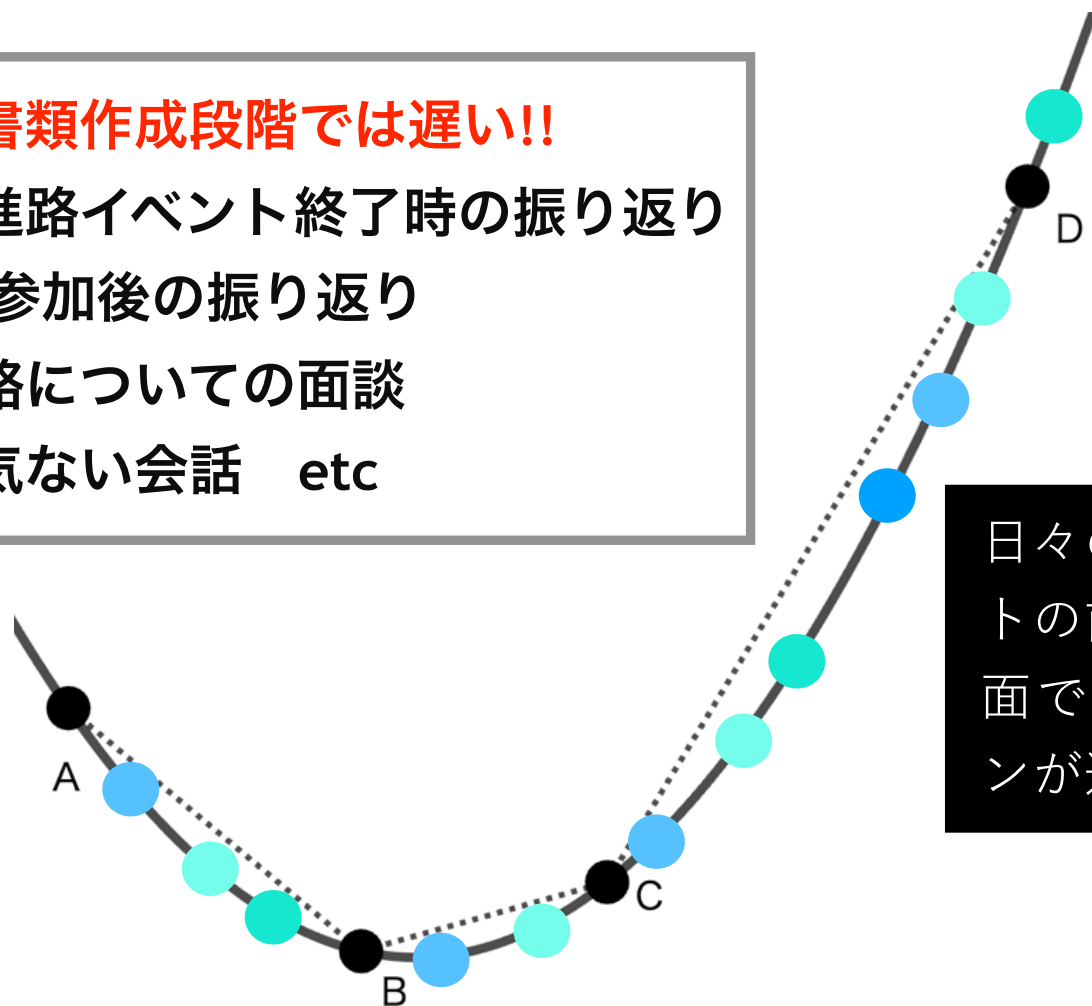
出願書類作成段階では遅い!!

- ・ 各進路イベント終了時の振り返り
- ・ OC参加後の振り返り
- ・ 進路についての面談
- ・ 何気ない会話 etc

1年次から積極的に働きかけ
進路意識を涵養する!!

志望理由の構成要素を作らせていく!!

日々の HR や授業の中、進路イベントの前後や部活動の時間、様々な場面での生徒とのコミュニケーションが進路指導の重要な機会!!



05 生徒対象「志望理由書き方講座」

- リクルート後藤様
進路講話「志望理由の書き方」
- スタディサプリ適正診断実施と自己分析
- 志望校の資料請求と学校研究
- 志望理由ワークブックの活用

05 生徒対象「志望理由書き方講座」

詳しくは、

生徒対象「志望理由書き方講座」実施要項を確認して下さい。

A low-angle, upward-looking photograph of several modern skyscrapers with glass facades. The buildings are silhouetted against a clear, deep blue sky. The perspective creates a sense of height and architectural grandeur. A white rectangular box is superimposed over the center of the image, containing the Japanese text.

後藤様にバトンタッチ